

エポマリンEX300

EPOMARINE EX300

一般名称	変性エポキシ樹脂塗料内面用B(低温用)			
適用規格	JHS-P-11 B			
系統	箱桁内面用ポリアミド硬化変性エポキシ樹脂塗料(2液形)			
主な用途	【橋梁用】			など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	○	×	×	×
特長	1)厚塗り性に優れている。 2)耐水性が優れている。 3)強靱で堅く、耐摩耗性が優れている。 4)各種ショッププライマーとの付着性に優れている。			
塗料性状	塗料密度(比重)	1.34(白)		
	溶剤密度(比重)	0.87		
	加熱残分	70%(白)		
法令など		ベース	硬化剤	
	劇物表示 (品名・含有率)	—	—	
	労安法上の 表示有害物	キシレン、エチルベンゼン	キシレン、トルエン、 イソプロピルアルコール、 エチルベンゼン	
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等	
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)	第1石油類(非水溶性)	
	硬化剤の成分 による区分	変性ポリアミドアミン		
	ホルムアルデヒド 放散等級	—		
製品情報		ベース	硬化剤	
	荷姿	20kgセット	18kg	2kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=9:1		
	主な色(色相)	白(N-93近似)、グレー(N-85近似)、ブラウン(O7-40P近似)		
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。			
使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合し、下記のシンナーを規定内で混入してから使用する。		
	熟成時間	5~10℃の場合は10~15分間(10℃以上は不要)		
	使用シンナー	テクトEP内面用シンナー		
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~10wt% ハケ・ローラー: 0~10wt%		
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 チップNo.	10MPa(100kg/cm ²)以上 163-619~623	(日本グレイ社製)

エポマリンEX300

EPOMARINE EX300

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	120	250	410
エアレススプレー塗り	—	—	160

注)標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使用時間

項目		5℃	10℃	20℃	—	—	—
乾燥時間	指触	2時間	2時間	1.5時間	—	—	—
	半硬化	16時間	12時間	8時間	—	—	—
標準塗装間隔 注)	最短	1日					
	最長	10日					
可使用時間		10時間	8時間	6時間	—	—	—

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。塗装間隔は、NEXCO東日本・中日本・西日本高速道路(株)構造物施工管理要領に準拠。

作業禁止条件 気温 5℃以下20℃以上、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジンク1000、SDジンク1500

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリッド: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 弊社に問い合わせください。
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	53.8	1.9
	5	49.9	2.0
	10	46.6	2.1

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1)被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
2)浮きさびやルーズな黒皮、旧塗膜面の発錆や塗膜の浮きなどは十分に除去して塗装してください。
3)塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。
この場合は軽くサンドペーパーなどで表面を研磨して表層を除去してください。
4)鮮やかな色合いに調色できない場合があります。
5)淡彩色の場合、紫外線などの照射によって黄変することがあります。
6)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
7)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。